

平成29年度 第3回技術研修会のご案内

日 時	平成29年11月15日(水) 13:30～16:30
会 場	佐賀市文化会館 3F 大会議室 (佐賀市日の出一丁目21-10 TEL 0952-32-3000)
主 催	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
後 援	佐賀県、(一社)佐賀県建設業協会、(一社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会
テ ー マ	「歴史的構造物等の保存技術と治水・利水対策」
研修項目	(1) 13:40～15:00

「デ・レイケ導流堤の歴史的役割と移設展示までの道のり」

嘉瀬川防災施設さが水ものがたり館 館長
佐賀大学名誉教授 荒牧 軍治 氏

有明海沿岸道路の筑後川架橋の橋脚を、土木学会の近代土木遺産に指定されているデ・レイケ導流堤上に建設することとなり、デ・レイケ導流堤が果たした役割、構造等を調査しました。また、橋脚建設に先立って詳細な発掘調査が実施され、その構造が明らかになりました。デ・レイケ導流堤が作られた理由、その構造の特徴、移設展示までの道のり等について振り返ります。

(2) 15:10～16:30

①「佐賀導水事業の概要及び東名遺跡の保存対策について」

国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所
施設管理課 施設管理第二係長 井上 晃二 氏

佐賀導水路は、筑後川、城原川、嘉瀬川を導水路で連絡する総延長約23kmの流況調整河川で、洪水調節、内水排除、流水の正常な機能の維持、水道用水(佐賀西部広域水道企業団)の補給を目的としています。本事業は平成21年度より管理に移行し、事業目的を果たすべく日々維持管理を実施しています。また、施工時には巨勢川調整池において、東名遺跡が発見され、キャッピングと呼ばれる保存対策を講じています。

②「大規模氾濫に対する減災対策について」

国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所
地域防災調整官 高場 紀好 氏

国土交通省では、平成27年度の関東・東北豪雨災害、昨年8月の台風10号等による豪雨災害を受け、「水防災意識社会」の再構築に向けて実施する取組について紹介します。

対 象 者	地方公共団体等職員、建設事業関係者、一般の方(大学生以上)
定 員	100名
参 加 料	無 料
申込方法	当機構のホームページ(https://www.sagacat.or.jp/)よりお申し込みください。1社につき3名まで受け付けます。 <u>『研修情報』→『技術研修会』→『平成29年度第3回技術研修会申込』をクリック!</u>

申込期間	平成29年10月23日(月)14:00～平成29年11月1日(水)17:00 (ただし、期限前でも定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。)なお、定員に満たない場合は追加募集を行います。 平成29年11月6日(月)14:00～平成29年11月8日(水)17:00 予定
------	---

問合せ先	〒840-0857 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3182番地 (公財)佐賀県建設技術支援機構 技術部 企画情報課 TEL 0952-26-1668
------	---

【その他】 車でご来場される場合は、会場敷地内の駐車場をご利用下さい。
※本研修会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会のCPDS(3unit)に認定されています。